

水田フル活用など水田農業対策の抜本強化を求める緊急決議

自民党は、国産農産物の安定供給と自給率の向上をめざし、二十一年度を「水田フル活用」元年として、米粉やエサ米等を増産する政策を打ち出した。しかしながら、生産現場では、エサ米の低い価格に見合う十分な支援を求める声が強く、このままでは、水田フル活用を軸にした水田農業の振興に重大な懸念が生じかねない。二十一年産の田植えに向け、農家は春の作業を開始しており、二十一年度予算の補正の可能性を含め、わが党は、速やかに対応する必要がある。

わが国農業の根幹である水田農業の振興と、そのための力強い米政策を確立するため、本議員連盟は、次のとおり緊急に決議する。

記

一、将来にわたる水田の有効活用と農家の所得確保のため、エサ米等の支援を抜本的に拡充・強化すべきである。

① 米粉・エサ米に対する追加支援による、一〇アール当り所得十万円
の確保

② エサ米等への支援を可能とする産地づくり交付金の一本化と拡充

③ 米粉等の需要確保のための加工業者への支援や政府による買取り

一、生産調整実施者に対する万全なメリット対策を講じるべきである。

① 水田フル活用推進交付金（一〇〇〇万円）の一万円以上への拡充

② 担い手の生産コストを補償する仕組み（岩盤対策）の構築

一、担い手対策について、高齢者や小規模農家も参加できる多様な集落組織などが担い手として位置づけられ、安心して営農できるよう、支援の拡充を行うべきである。

一、水田・畑作経営所得安定対策について、担い手に対する万全な手取り確保対策を講じるべきである。

以上

平成二十一年三月十二日

自由民主党 水田農業振興議員連盟

当面する農業振興政策について（案）

一 むら・もり・はまの賑わいの実現に向けて 一

消費者をはじめ一般国民の理解を得ながら、農業者の所得確保、農業後継者の育成、高齢農業者への支援、農山村地域の活性化、食料の安定供給を実現するため、緊急に以下の取組を実施。

1 水田フル活用への支援対策

- (1) 生産調整協力者に対する協力金の大幅上乘せ
- (2) 新規需要米（米粉用米、飼料用米）への支援
- (3) 飼料用米価格の安定制度の新設
- (4) 国産麦・大豆の需要拡大のための食品企業等への支援

2 野菜・果樹・畑作等への支援対策

- (1) 園芸施設等のリースなど野菜・果樹・畑作等の支援
- (2) さとうきびなど野菜・果樹・畑作物等の低コスト化支援
- (3) 野菜・果樹・畑作物（茶など）の加工業務用への支援

3 畜産・酪農への支援対策

配合飼料の価格安定、畜産経営対策、飼料用稲フル活用対策等への支援

4 担い手への農地集積対策

小規模農家など農地の出し手への支援

5 担い手への経営支援対策

(1) 農業機械や共同利用施設の整備等への支援

(2) 就農後一定期間農業に従事する者に対する特例的な支援

(3) 集落営農の法人化への支援

6 地域農業農村の再生・活性化支援

(1) 農村集落に対する支援の充実・強化

(2) 雇用・新規就農対策の推進

(3) 農業農村整備等（公共）への支援

7 耕作放棄地解消推進対策

8 土地改良負担金の軽減対策

9 流通・加工への支援対策

消費者に生産者の顔が見えるよう、国産農産物の使用拡大を図る食品企業等への支援、農商工連携・農産物直売・商店街活性化等への支援

今後更に検討すべき農業振興政策について（案）

1 コメ対策

- 産地づくり交付金制度のあり方
- 集荷円滑化対策のあり方
- 収入減少影響緩和対策の基準収入額の算定方法
- 米粉用米、飼料用米の生産者と実需者をマッチングする手法

2 担い手対策、農村対策

- 兼業農家、小規模農家をキチンと位置付けた担い手対策
- 中山間地域等直接支払い、農地・水・環境保全向上対策のあり方
- 集落営農の取組を進めるためのメリット措置

3 その他

- 果樹の価格下落防止対策（経営安定対策）